

法学部・夜間主コースカリキュラムマップ（令和4年度入学者用）

DP	1年次	2年次	3年次	4年次	
a 言語運用能力	基礎的知識の修得 外国語（英語I・英語II・英語III） 情報リテラシー 大学入門ゼミ	コミュニケーション能力の修得	プレゼンテーションスキルの修得	専門分野における言語運用能力の修得 演習	
	教養・基礎的知識の修得	専門分野の知識の修得	専門分野の応用力を培う		
b 知識・理解	学問基礎科目	主題科目	法学検定		
	【専門基礎科目】	【専門科目】 法学部開設科目			
	公法系科目	憲法I 市民と税制	憲法II 租税法	刑法総論 刑法各論 行政法総論	行政救済法I 行政救済法II 社会保障法
	私法系科目	民法I	民法II	民法III	商法総則・商行為法 保険法 会社法I 会社法II 労働法 経済法
	政治系科目	行政学	政治過程論	政治史	公共選択論 アジア・太平洋社会論 比較政治 政治行動論 地方自治論
国際系科目	国際法I	国際法II	国際私法		
経済学系開設科目	経済学入門A 企業倫理	経済学入門B 現代企業論	経営学 リスク・マネジメント論	会計学 経済政策 観光学 社会政策 福祉経済論 国際経済学 財政学	
c 課題探求能力	基礎的問題解決法を学ぶ 大学入門ゼミ 主題科目	専門分野の理解を深める	総合的に問題解決について考える 【専門科目】 法思想史 法哲学 民事訴訟法 刑事訴訟法 政治思想 平和学		
	社会的責任の基礎を学ぶ 大学入門ゼミ 健康・スポーツ	法哲学	社会的責任の実践を学ぶ 演習		
d 倫理観・社会的責任	地域的基础を学ぶ 主題科目		地域における法の実践を学ぶ 演習		

： 全学共通科目

： 経済学部開設科目

その他： 法学部開設科目

(夜間主コース)

①言語運用能力

全学共通科目の外国語科目(英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)により、基礎となる外国語能力向上を図ります。

学部開設科目では、法学・政治学に必要なコミュニケーション能力の向上を図るため、「大学入門ゼミ」および「演習」により、専門分野における言語運用能力の習得を図ります。一部の少人数教育では、社会問題に基づいた解決策を考える、法学的なPBL(Problem Based Learning)を行っています。

②知識・理解(21世紀型市民及び学士(法学)として)

全学共通科目では、幅広い知識を身につけます。主に学問基礎科目の履修によって、法学・政治学以外の分野にも幅広い知識を持ちます。

学部開設科目では、法学の基礎的知識の習得のため、法学入門を学びます。さらに、公法系科目(憲法、行政法系科目)、私法系科目(民法、商法系科目)、政治系科目を学び、専門的知識の習得、専門的応用力を養います。

③問題解決・課題探求能力

全学共通科目では、主に主題科目の履修により、法学・政治学以外の分野について問題解決・課題探求能力を養います。

学部開設科目では、法学および政治学に関する問題解決・課題探求の力を養うために、少人数教育を取り入れています。特に、「大学入門ゼミ」では、様々な社会事象に対して考察を加えるための法学・政治学的なアプローチの方法を学んでいきます。

法学・政治学は、すべて社会に存在する実際的问题を解決する学問です。法学・政治学を学ぶことは、全体として、問題解決・課題探求能力の向上に役立ちます。中でも特に、「刑事訴訟法」「民事訴訟法」のいわゆる訴訟法系科目は、問題解決の手続きそのものであり、専門的な問題解決について学ぶことになります。

「法哲学」「法思想史」のいわゆる基礎法科目は、法の基礎となっている考え方、法が昔から抱えている問題などを学べ、課題探求能力の養成に役立ちます。

④倫理観・社会的責任

法は、最低限の倫理であり、法学を学ぶことは、倫理観・社会的責任の涵養に役立ちます。特に、法の本質・目的・理念を考察する「法哲学」の履修により、倫理観・社会的責任の大切さ・重要さを学びます。

⑤地域理解

全学共通科目の主題科目において、地域の問題の基礎を学びます。さらに、PBLを行う

一部の「演習」により、地域における法の実践について学んでいきます。